

しきしまこうえんのまつばやし

敷島公園の松林

- 所在地／前橋市敷島町 262 番地（ばら園管理事務所）
- 規模／約 7ha、樹齢 100 年以上
- 指定／風致地区
- 問合せ／前橋市建設部公園管理事務所施設係 電話 027-225-2116



立地環境

松林内にある「ばら園」とのコントラストはほかでは見られない絶景。街の近くの平地にこれだけの松がある公園は全国的にも珍しい。

松原の 今昔物語

詩が生まれる松林

前橋市敷島公園は、元々河原であった土地を大正 11 年に前橋市の公園として市会に提案・決議され、昭和 13 年に風致地区に指定されました。

敷島公園の全体面積は 37.6ha、このうち市管理エリアにある松林と県管理区域の松林を合わせた約 7ha に、アカマツとクロマツが約 2,700 本群生しています。もともとあった松林に、大正 13 (1924) 年に市民から 100 本の松の寄付を受け植栽されたことから、樹齢 100 年以上と推定しています。

敷島公園の松林は「日本近代詩の父」と称される詩人・萩原朔太郎が生前こよなく愛した地であり、前橋にいた頃はしばしば散歩に訪れた場所です。また、朔太郎と交流が深かった室生犀星もこの松林の詩を残しており、この松林の風景や香り、感触などが詩を生んでいます。園内には朔太郎の詩碑のほか 8 つの詩碑があり、より詩を連想させる雰囲気包まれます (写真⑤)。松の葉でほどよいクッションとなっている松林内を歩けば、あなたの五感も研ぎ澄まされます。

文と写真③④：前橋市建設部公園管理事務所→「前橋市 敷島公園」で検索



COLUMN

- 公園内に約 600 種 7 千本が見られる「ばら園」があり、バラ・松林・青空のコントラストは息をのむ絶景です (写真③)。
- 前橋といえば絹産業で発展した街。「蚕糸記念館」も松林内にあり、日本の近代化に寄与した絹文化を知ることができます (写真①)。
- 松林内には野球場や陸上競技場などの運動施設があり、1 年を通してスポーツが行われています。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR 両毛線前橋駅下車、路線バスで、北口バスターミナル 3 番乗り場より「総合スポーツセンター行き」緑が丘町・川原町方面バスで「老人センター入口 (ばら園北門)」下車

●車の場合

関越自動車道「前橋 IC」より国道 17 号経由で約 20 分。駒寄スマートインターより上毛大橋経由で約 5 分。駐車場有。十分な台数があります。





「敷島公園門倉テクノばら園」のバラと松林と青空のコントラスト
ばら園では、日本屈指のスタンダード仕立てのバラは見たえがあります。色に変化する前橋のバラ「あかぎの輝き」もおすすめ。



祇園枝垂れ桜

祇園枝垂れ桜(京都を代表する名桜「祇園枝垂れ」の孫木)もあり、開花時にはライトアップを行います。幻想的な夜桜は圧巻です。



松林と写真位置(レクリエーション区域)

群馬県が管理するスポーツ施設区域 17.8ha(群馬県立敷島公園)と、前橋市が管理するレクリエーション区域 19.8ha(前橋市敷島公園)の計 37.6ha からなる。



アカマツと詩碑

全国の皆様に松原を身近なものと感じ、気軽に散策していただくことを意図して、2007年に冊子『身近な松原散策ガイド』を作成しました。現在、ホームページ「身近な松原散策ガイド」において、新たな松原を追加して47都道府県124か所の松原を紹介しています。松原に足を運び、白砂青松をお楽しみください。

